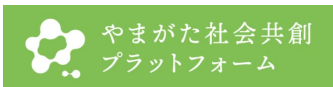


学長定例記者会見要項

日 時： 令和7年7月3日（木） 11:00～11:45

場 所： 法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

発表事項

1. 世界遺産ナスカの地上絵を未来に伝えるために ～山形大学と一般社団法人ナスカ地上絵協会が包括連携協定を締結～
2. 新酒「山形大学 燦樹 -KIRAMEKI- 39」完成～山形大学オリジナル純米大吟醸酒新モデル7月23日より販売開始～
3. 山形大学が「リカレント教育エコシステム構築支援事業」に採択～やまぶらを基盤とした“地域共創型リカレント”の全国モデル構築へ～

4. 関根智仁准教授が第24回船井学術賞を受賞
5. めーかーずフェスタ 2025 de 米沢を開催します！～9月12日（金）・13日（土）に米沢市伝国の杜にて～
6. エクステンションぶらす 観光地経営のための基礎的理論を学ぶ～どこにでもあるものではないものを創り出す仕組みを知る～


お知らせ

1. エクステンションぶらす アメリカで今、何が起きているのか～トランプ政権を理解するための3つの視座～

2. 「やまだいキッズラボ！2025 夏休み編」を開催します！～未就学児・小中学生向けのSTEAM教育イベント～

（参 考）

○ 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：令和7年8月7日（木） 11:00～11:45

場 所：法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

学長定例記者会見（7月3日）発表

1. 世界遺産ナスカの地上絵を未来に伝えるために ～山形大学と一般社団法人ナスカ地上絵協会が包括連携協定を締結～

山形大学学術研究院（人文社会科学部主担当）教授

一般社団法人ナスカ地上絵協会代表理事

一般社団法人ナスカ地上絵協会理事

一般社団法人ナスカ地上絵協会理事

一般社団法人ナスカ地上絵協会監事

さかい まさと
坂井 正人
わたなべ よういち
渡邊 洋一
あこ じま いさお
阿子 島 功
さくらい あきひさ
櫻井 秋久
さとう こと
佐藤 琴

2. 新酒「山形大学 燦樹 -KIRAMEKI- 39」完成～山形大学オリジナル純米大吟醸酒新モデル7月23日より販売開始～

山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター 技術専門職員

山形大学生協4地区購買書籍統括副店長

奥羽自慢株式会社製造部

さくま たくや
佐久間 拓也
にしおか りゅうだい
西岡 龍乃
いしづか まさひで
石塚 雅英

3. 山形大学が「リカレント教育エコシステム構築支援事業」に採択～やまぶらを基盤とした“地域共創型リカレント”の全国モデル構築へ～

山形大学学術研究院(人文社会科学部主担当)准教授／副学長特別補佐(社会共創)

かきざき しんや
柿崎 慎也

4. 関根智仁准教授が第24回船井学術賞を受賞

山形大学学術研究院（工学部主担当）准教授

せきね ともひと
関根 智仁

5. めーカーズフェスタ 2025 de 米沢を開催します！～9月12日（金）・13日（土）に米沢市伝国の杜にて～

山形大学学術研究院（工学部主担当）准教授

山形大学学術研究院（工学部主担当）助教

ただ じゅうべえ
多田 十兵衛
はらだ ともちか
原田 知親

6. エクステンションぷらす 観光地経営のための基礎的理論を学ぶ～どこでもあるものではないものを創り出す仕組みを知る～

山形大学学術研究院（人文社会科学部主担当）教授

山形大学学術研究院（社会共創デジタル学環主担当）教授

／エクステンションサービス推進本部統括責任者

やまだ ひろひさ
山田 浩久
これかわ はるひこ
是川 晴彦

令和7年（2025年）7月3日

世界遺産ナスカの地上絵を未来に伝えるために ～山形大学と一般社団法人ナスカ地上絵協会が包括連携協定を締結～

【本件のポイント】

- 山形大学ナスカ研究所が発見した500点以上の地上絵を保護する活動を推進するために、2024年10月に一般社団法人ナスカ地上絵協会が設立されました。
- 山形大学と一般社団法人ナスカ地上絵協会は2025年7月3日に包括的連携協定を締結しました。連携活動の第1弾としてナスカの地上絵のクリーニングを目的としたクラウドファンディングを近日中に実施します。
- 山形大学ナスカ研究所が明らかにしてきた研究成果と、世界遺産ナスカの地上絵の意義を世界と未来に発信するために両者は連携活動を推進していきます。



【概要】

山形大学におけるナスカの地上絵に関する研究は2004年に開始され、着実に成果をあげてきました。2015年にはペルー文化省とナスカの地上絵に関する学術協力と保護等を目的とする「特別協定書」を締結しました。2018年からAIを導入したことにより研究が加速し、ナスカの地上絵の全体像の把握は目前に迫っています。一方、現地は周辺の市街地と鉱山作業場の拡大に伴って地上絵の破壊が進んでいます。これまで発見された地上絵の保存と活用を推進するために地上絵の視認性を高める地上絵のクリーニングが急務です。

山形大学は2025年7月3日に一般社団法人ナスカ地上絵協会と包括連携協定を締結し、協働して保護活動を進めていくことになりました。その第一弾として近日中にクラウドファンディングの実施を予定しています。山形大学ナスカ研究所が明らかにしてきた研究成果と、世界文化遺産であるナスカの地上絵の意義を世界と未来に発信するために両者は連携して活動していきます。

【背景】

山形大学におけるナスカの地上絵研究は2004年に始まり、2012年には現地にナスカ研究所を開所、2015年はペルー文化省とナスカの地上絵に関する学術協力と保護等を目的とする「特別協定書」を締結しました。IBM コーポレーションとの共同研究により2018年からAIを導入したことによって研究が加速し、ナスカの地上絵の全体像の把握は目前に迫っています。一方、現地周辺の市街地と鉱山作業場の拡大に伴って地上絵の破壊が進んでいます。これまで発見された地上絵の保存と活用を進めるためには、人々が地上絵を認識できるようにするクリーニングが急務です。

【一般社団法人ナスカ地上絵協会】

これまで研究に関わってきた有志がペルーの世界文化遺産ナスカの地上絵の保護および研究に資する活動を行うことを目的として2024年10月に設立しました。英文ではNasca Geoglyphs Preservation and Research Association、英略称をNAPRA（ナプラ）と表記します。概要はホームページをご覧ください。

<https://sites.google.com/view/nasca-napra/>



NAPRAホームページ QRコード

お問い合わせ

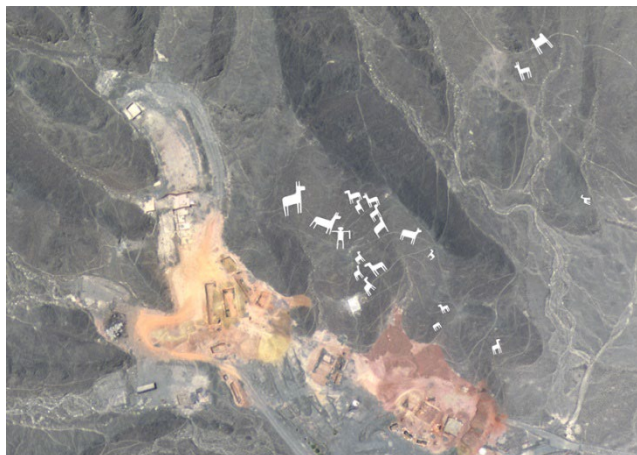
山形大学ナスカ研究推進センター

TEL 023-628-4470 メール nasca@human.kj.yamagata-u.ac.jp

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

【ナスカの地上絵のクリーニング活動とは】

地上絵が描かれている地域一帯には、黒い石が一面に広がっています。地上絵は、描きたい図柄に応じて地表の黒い石を取り除き、その下にある明るい地面（白い面）を露出させることで表現されます。しかし、この白い面に石や砂が入り込むと、図柄が見えにくくなってしまいます。白い面に入り込んだ石や砂を除去すれば視認性は回復可能ですが、それらが後から入り込んだものであるかを識別するのは困難です。そこで、現状を損なわずに地上絵の視認性を高める手法として、地上絵の上に薄い膜を張り、図柄に応じて白い砂を配置する方法を試みます。この方法により、地上絵の輪郭が際立ち、視認性の向上が期待されます。



▲地上絵に迫る危機：拡大する鉱山作業場

【今後の予定】

- ・2025年7～9月頃 クリーニング活動に関するクラウドファンディング開始 目標金額：200万円
- ・2025年11月～12月 ペルー・ナスカの現地にて地上絵のクリーニング活動を開始

PRESS RELEASE

令和7年（2025年）7月3日

新酒「山形大学 燦樹 -KIRAMEKI- 39」完成 ～山形大学オリジナル純米大吟醸酒新モデル7月23日より販売開始～

【本件のポイント】

- 山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センターエコ農業部門（高坂農場）で栽培された酒米「出羽燦々」を使用し、**精米歩合39%の高級純米大吟醸酒**として新モデルを開発。
- 新しいモデルへの挑戦を通じて、大学農場産酒米のブランド化・認知向上を図る。
- 売上の一部は学生への支援に活用する。



【概要】

山形大学オリジナル日本酒「燦樹（きらめき）」は、農学部附属やまがたフィールド科学センターエコ農業部門（高坂農場）で栽培された米を原料に使用した純米大吟醸酒で、2007年から山形大学生協にて販売しています。使用している酒造好適米「出羽燦々」は、特別栽培の認証を受けており、慣行栽培と比べて農薬と化学肥料の使用を50%以下に抑えて栽培されたものを100%使用しています。このたび完成した新モデル「燦樹-KIRAMEKI-39」では、従来品（精米歩合50%）に比べてさらに磨きをかけ、精米歩合39%という高精白の純米大吟醸酒として仕上げました。醸造には奥羽自慢株式会社に協力を仰いだほか、米作り・酒造りの行程の一部に学生が関わり、学生の日本酒への理解を深める場としています。

約980本の販売を予定しており、売り上げの一部は、学生への支援金として活用されます。

【山形大学 燦樹 -KIRAMEKI- 39 の概要】

醸造本数：約980本

価格：いずれも、720ml 瓶入り1本3,900円(税込)

・小白川・飯田・米沢・鶴岡の各キャンパス内にある山形大学生協の店舗での直接購入が可能。

・生協ホームページ (<https://www.yamagata.u-coop.or.jp/>) を通じて組合員向けに通信販売予定。

【醸造元】

奥羽自慢株式会社（山形県鶴岡市上山添神明前123）

【高級酒モデル作成の背景】

毎年展開している日本酒『燦樹』シリーズをさらに拡充することで、山形大学の農場米の新たな魅力を発信し、ブランド力および認知度の向上につなげることを目的に企画しました。本企画では、山形大学のオープンキャンパスをはじめ、様々な機会での販売を行い、県内外の多くの方々に山形大学の教育・研究活動や魅力を広く周知する機会とします。39 - の語呂合わせとともに、感謝を伝えるきっかけになるお酒として、お土産や入学祝いの返礼品等にもご利用いただきたいという願いを込めています。

精米歩合を高める際の米割れが課題とされる中、山形大学農学部で栽培された「出羽燦々」は割れが少なく、品質の高さが評価されています。奥羽自慢株式会社様からも「非常に優れた酒米」との声をいただいています。

お問い合わせ

企画・取材について：購買書籍店 西岡 Nishioka.Ryudai@univ.coop

販売について：小白川コンビニ店 Ciel(シエル) 渡邊

TEL 023-641-8662 メール Watanabe.Taiki@univ.coop

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

【売り上げの一部を学生支援に活用】

完売した場合には売り上げの一部から37万円を「山形大学基金」等に寄附いたします。
寄付贈呈式は、毎年7月下旬頃に実施しています。

参考：昨年 <https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/fund/information/20240801/>



山形大学 燦樹 —KIRAMEKI— 39

感謝の気持ちを伝えたいときに——家族への「ありがとう（39）」や、入学祝いの返礼、山形大学来校のお土産として

山形大学附属農場で栽培された「出羽燦々」を、贅沢に61%削り、雑味を落とした純粋な味わいに仕上げた逸品です。光を受けて燦々と輝く酒色と、キレのいいシンプルな味わいをぜひお楽しみください。

【ご購入について】

・山形大学生協各店

小白川キャンパス 小白川コンビニ店Ciel

飯田キャンパス 医学部購買書籍店

米沢キャンパス 工学部購買書籍店

鶴岡キャンパス 農学部購買書籍店 Vert（ヴェール）

・通信販売

『山形大学生協』ホームページ

※右記二次元コードよりアクセスできます

発売日：2025年7月23日 価格：税込 3,900円



数量限定の特別商品のため売り切れ次第終了となります。お酒は20歳になってから。20歳未満の方の飲酒は法律で禁止されています。

お問合せ先：山形大学生協 小白川コンビニ店Ciel（シエル） TEL:023 - 641 - 8662

令和7年7月3日

山形大学が「リカレント教育エコシステム構築支援事業」に採択 ～やまぶらを基盤とした“地域共創型リカレント”の全国モデル構築へ～

【本件のポイント】

- 文部科学省「リカレント教育エコシステム構築支援事業（メニュー①）」に採択（申請43件中27件）
- 前度事業の好実績と「やまぶら」組織力が高く評価される
- 「地方創生2.0基本構想」の“新結合が期待される先行地域”にも選出



【概要】

山形大学はこのたび、文部科学省の「リカレント教育エコシステム構築支援事業（メニュー① 地域ニーズに応える産学官連携を通じたリカレント教育プラットフォームの構築）」（令和6年度補正予算）に採択されました。全国の申請43件中27件が採択された中での選出で、同省のリカレント教育関連事業では3年連続の採択です。

今回の採択にあたっては、令和5年度までに実施された「リカレント教育推進事業」での高い成果に加え、**山形大学が事務局を務める「やまがた社会共創プラットフォーム（やまぶら）」のネットワーク力と、地域ニーズを着実に教育へと結びつける仕組みへの期待が大きく評価されました。**とくに、「前事業の好成績をもとに発展させている」「やまぶら組織の働きに大いに期待する」との評価が添えられています。

本学では本事業を通じて、県内の高等教育機関・行政・経済団体・医療団体等と連携し、「地域共創型リカレント教育エコシステム（循環型学習社会）」の構築を目指します。

さらに本取組は、6月に閣議決定された政府の「地方創生2.0基本構想」において、“**新結合が期待される先行地域**”にも選出されており、今後の政策パッケージの中核的役割を担うことが期待されています。

【事業概要】 別紙を参照ください

【やまがた社会共創プラットフォーム（やまぶら）とは】

山形県内すべての大学・短大・高専、全自治体、主要経済団体、医療団体等が加盟する“オールやまがた”の共創プラットフォーム。令和4年発足、山形大学が事務局を務める。<https://www.yamagata-u.ac.jp/yamapura/>

【令和6年度補正予算「リカレント教育エコシステム構築支援事業」】

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/manabinaoshi/mext_00026.html

【地方創生2.0基本構想】（内閣官房） https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii_chihousousei/index.html

（お問い合わせ）

国立大学法人山形大学 総務部総務課 社会共創推進事務局 樋口、石澤
（やまがた社会共創プラットフォーム事務局）

TEL 023-628-4615 メール yu-shakaikyousou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学：オール山形の産学官金医連携枠組み「やまぷら」で展開するリカレント教育エコシステム構築事業



事業テーマ概要

① 名称

- オール山形の産学官金医連携枠組み「やまぷら」で展開するリカレント教育エコシステム構築事業

② 自走化に向けた取組

- 受講料等の自己収入を基盤とし、毎年の成果評価を反映したプログラム改善サイクルを確立することで、安定的・継続的な事業運営と資金獲得を目指す。

③ 普及啓発活動

- ポータルサイト「やまぷらリカレント教育アカデミー」を中核にして、テレビ番組、セミナー等の多様な媒体を通じてリカレント教育の有用性を発信し、県全体の学習意欲と参画意識の向上を図る。

④ 達成目標

- 「やまぷら」が掲げる5つのテーマ（地域人材育成、地域産業振興、健康長寿支援、地域活性化支援、環境保全）に資する人材を育成するためのエコシステムを創出し、事業の自走化を図ることを目的とする。これにより、山形県が直面する少子高齢化や人口減少といった課題を克服し、持続可能な地域社会の実現に貢献する。

担当連絡先

- 山形大学総務部総務課社会共創推進事務室
Mail : yu-shakaikyousou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
Tel : 023-628-4615

事業テーマの特色

① 事業テーマ特徴

- 本事業は、令和4年10月に発足した「やまがた社会共創プラットフォーム（通称：やまぷら）」を中核的な活動主体として、山形県全域にわたって展開されている。
- 「やまぷら」は、県内の経済団体、山形県および全35市町村、さらに県内すべての14高等教育機関が参画する、全国的にも先進的な総合型地域連携プラットフォームであり、「オール山形」による協働の枠組みとして位置づけられている。
- 本事業では、高等教育機関連携部門、地域課題解決・価値創出部門、リカレント教育推進部門の三位一体の体制により、高等教育からリカレント教育まで一貫したエコシステムを構築し、地域の多様な課題解決に貢献する人材を育成する。

② アピールポイント

- 地元の経営者や自治体首長らが講師を務める実践重視の教育プログラム「やまがた共創塾」を通じ、地域の中核となる人材の継続的な育成を実現している（昨年度実績；受講料20万円×19名、今年度実績；受講料25万円×32名）。
- 脱炭素、観光振興等の多様な地域課題解決に資する専門人材の育成と地域内定着を継続的に図っている。

山形大学：オール山形の産学官金医連携枠組み「やまぷら」で展開するリカレント教育エコシステム構築事業



やまがた社会共創プラットフォーム

企業環境整備のための推進指針の策定と活用
教育効果の可視化を図る評価指標の整備
普及啓発活動による地域全体への展開

産業界

その他

大学

行政

金融
機関

<プラットフォームの概用(座組)>

	産業界	大学	行政	金融機関	その他
構成	山形県経営者協会、山形県商工会議所連合会、山形県中小企業家同友会など	山形大学、東北芸術工科大学、東北公益文科大学、山形県立保健医療大学など県内全14高等教育機関	山形県、山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、長井市、寒河江市など県内全35市町村	山形県銀行協会に加盟している全金融機関	山形県医師会に加盟している全医療保健機関
役割	業界ニーズの提供・新規プログラム開発への協力	教育プログラムの開発・教育シーズの集約・提供	地域課題の提供及び解決支援・事業周知への協力・講師派遣	企業の紹介・プログラムへの指導助言・講師派遣	医療・健康分野との連携・プログラムへの指導助言・講師派遣

プラットフォームの特徴

- 山形県内の経済団体、全市町村、全高等教育機関、金融・医療機関が加盟する「オール山形」体制により運営される地域連携プラットフォームである。
- 多様な主体が恒常的に対話し、課題を共有・明確化して「実効的な解決策を実践する場」として機能する地域連携プラットフォームである。

プラットフォームで取り組む地域課題

- 少子高齢化と人口減少による地域産業の担い手不足と若者流出への対応。
- 地域企業における人材育成環境の整備とリカレント教育の定着。

山形大学：オール山形の産学官金医連携枠組み「やまぷら」で展開するリカレント教育エコシステム構築事業



プログラム概要

プログラム名	対象者	目的・内容
やまがた共創塾「地域産業コア人材育成プログラム（第2期）」	中堅層・プレマネジメント層・管理者層など	5ヶ月・全67時間の対面研修。経営シミュレーションや企業実地研修などを通じ、地域産業を牽引するコア人材を育成する。修了者にはデジタルバッジを発行。
やまがた共創塾「経営者アップグレードプログラム（仮称）」	山形県内の中小企業経営者	全5回・15時間のプログラム。人材育成に取り組む企業の考え方やリスクマネジメントを学び、自社の成長戦略に繋げる。
やまがた共創塾「『やまがたモデル』を活用したカーボンニュートラル人材育成プログラム（第2期）」	山形県内の自治体職員など	山形大学と飯豊町が共同開発した独自の温室効果ガス削減手法「やまがたモデル」を学ぶ。オンライン併用で実施し、地域のカーボンニュートラルを推進する人材を育成する。
観光人材育成プログラム	山形県内で観光業に従事する企業、団体、自治体職員	観光庁のガイドラインに基づき、観光事業戦略やマーケティング、DX等を体系的に学ぶ。観光分野における地域のリーダーを育成する。
やまがた社会共創ワークショップ	「やまぷら」加盟機関の職員、学生など	参加者間のネットワーク構築と、地域の課題解決策の創出を目的としたワークショップ。「若者の住みやすいまちづくり」など、毎回テーマを設定して議論を行う。

令和7年（2025年）7月3日

関根智仁准教授が第24回船井学術賞を受賞

【本件のポイント】

- 関根智仁准教授が公益財団法人船井情報科学振興財団より船井学術賞を受賞。
- 受賞タイトルは「有機複合材料の精密機能化による高性能デジタルスキンデバイス技術の開拓」で、山形大学では初めての受賞。
- ロボットや義手などに埋め込み可能（インプラントブル）で、触覚機能を高度に付与できる「デジタルスキンデバイス」を独自の有機材料合成から実現。さらに機能化されたセンサ群を集積し、AIによる自動認識機構と一体統合することで、高性能化・高環境安定化・広域システム化の全担保に成功。



【概要】

本表彰は、「情報科学および情報技術分野を中心に広く理工系分野において、顕著な研究業績があった若手研究者に褒賞を授与し、わが国の科学技術に関する研究の向上、発展に寄与する」ことを目的として公益財団法人船井情報科学振興財団が定めているもので、関根准教授は萌芽的、独創的かつ高度な研究開発能力を有する若手研究者として選定されました。受賞対象者は、国内の大学あるいは公的研究機関に所属する若手研究者であり、評価の視点は、学術的な新規性だけでなく産業への応用可能性なども含まれます。

関根准教授らの研究により、触覚付与のためのデジタルスキンデバイスとAI技術の融合が推進され、触れた対象物を正確に予測できる物体認識システムが独自に構築されました。これらの成果はインプラントブルエレクトロニクスを超正確な触覚検出技術としての開拓へと導く重要な成果です。

【背景】

世界で最高齢社会である我が国は、慢性的な労働力不足が指摘されています。実際、内閣府によるSociety5.0（サイバー空間とフィジカル空間の融合による人間中心の社会創造）では、我が国が目指すべき未来社会の姿が提唱されており、そのなかでは生産場の労働力向上が持続的な社会の発展に寄与することが示唆されています。これを解決する方法のひとつとして、産業用ソフトロボットの導入とその自動化が考えられます。一方、工業的視点で見た場合、当該ロボットの自動化には「把持作業を効率的に実施するための触覚センサが少ない」「AIとの技術融合の遅れ」などの問題が多く残っています。

このように自動化に不可欠なソフトでやわらかい触覚センサですが、その開発は世界中で激しい研究開発競争が行われています。これらのソフトデバイスの構築には、本質的に柔らかい材料である有機物が有用であることが明らかになりつつあります。しかし、デバイスの電気特性と材料構築、信号解析の同時推進は学際的研究分野であり、幅広い知見が必要なため困難を極めているのが現状です。とくに、検出した触覚信号をどのように解釈し、どのように利活用してロボットへ展開するのか、という情報工学の観点からもより融合的な技術革新が望まれています。



【研究手法・研究成果】

関根准教授らの研究により、触覚付与のための高性能なデジタルスキンデバイスを高精度に作製することが可能になりました。これにより圧力や温度、湿度、すべりと言ったヒトが感じるすることができる触覚を電氣的に再現す

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

ることができます。さらに、それより得られた触覚信号を AI（機械学習）と融合することで、単なる信号の取得に留まらない「信号がもつ情報の意味付け」に成功しています。これは、たとえば触れた対象物を正確に予測できる物体認識システムなどに応用できます。

【今後の展望】

本研究は、触覚センサ・AI・ソフトロボットの融合領域において、あらゆるヒトの触覚機能を再現し電子データシステムとして再構築できる可能性があります。これは、将来技術としてヒトの労働代替を目指したソフトロボットの自動化に寄与できると考えられます。さらには、産業場におけるヒトとロボットの適切な人員再配置（たとえば単純作業はロボットが、生産ライン管理はヒトが行うようなより適材適所と思われる役割分担）が行える持続可能で省エネルギーな新労働体系への応用も期待できます。

お問い合わせ

山形大学米沢キャンパス事務部総務課（広報）

TEL 0238-26-3005 メール yu-koukoho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

令和7年（2025年）7月3日

めーかーずフェスタ2025 de 米沢を開催します！

～9月12日（金）・13日（土）に米沢市伝国の杜にて～

【本件のポイント】

- 9月12日（金）・13日（土）、米沢市の伝国の杜にて「めーかーずフェスタ2025 de 米沢」を開催します。
- 「めーかーずフェスタ」とは、身近で新しいテクノロジーをユニークな発想で使いこなし、みんなを笑顔にするメーカーが集い発表・展示を行うイベントです。
- 本イベントでは、米沢の地で未来のものづくり・クリエイター達が一堂に会し、それぞれの作品を発表・展示を行います。今年度は360° オープンファクトリーとの同時開催です。



【概要】 山形のものづくりの拠点となる米沢市で、山大版「めーかーずフェスタ」を開催します。めーかーずフェスタとは、身近で新しいテクノロジーをユニークな発想で使いこなし、みんなを笑顔にする 未来の「メーカー」「クリエイター」達が集い、発表や展示を行うイベントです。本イベントでは、未来のものづくり・クリエイター達が一堂に会して、ロボット・マイコン・電子工作・3Dプリンタ、VR/MR/AR（Unity, マイクラ, メタバースなど）・アバター・生成AI、IoT/ICT、地域づくり（衣食住、3R、等）・社会実装（e-sports、プロジェクションマッピング、観光・見守りを支える技術、等）、等々、熱意のこもった作品や成果を、米沢の地で自由闊達に発表展示・説明を行います。本企画は、メタバースなどのVR技術やロボット等を活用し、学生・教員・研究者が垣根を越えて集まり、地域に根ざした新しいコミュニケーション支援システムを開発する拠点として活動している山形大学認定研究グループ『ナセバース』と米沢ものづくり振興協議会との共催、米沢市の後援で開催します。

【背景】 インターネット上やゲームの世界など、現実とは異なる空間に存在する3次元の仮想空間「メタバース」は、ここ数年において世界中で関心が集まってきており、ビジネスや教育・観光といった分野で導入の検討が進められています。また、対話が可能なロボットやペットロボット等を駆使した見守りなど各種支援システムが開発・運営されています。本学でも、学生サークルであるVR（バーチャル・リアリティ）部において「メタバース」を活用したバーチャルオープンキャンパスやケヤキ並木の3Dデータ化、といった活動がおこなわれています。これら「メタバース」やICT・ロボット等を活用し、アフターコロナ時代の教育や介護、他のさまざまな分野で児童から現役世代・高齢者まで幅広い世代の地域の人たちの交流を深める場をつくろうと、学年・身分・学部学科の垣根を越えた学生・教員・研究者が結集して「ナセバース」研究拠点を立ち上げ、2022年6月2日山形大学認定研究グループの承認を受けました。今まで培ったロボットやメタバース技術を融合し活用することで、世代間・年代間をつなぐ新たなコミュニケーションツールによる仕組みづくりを目指しており、その活動の一環として、米沢市内の小学生・中学生・高校生と連携したイベントを企画したものです。

【開催目的】 未来のものづくり・クリエイター達が一堂に会して、ロボット・マイコン・電子工作・3Dプリンタ、VR/MR/AR（Unity, マイクラ, メタバースなど）・アバター・生成AI、IoT/ICT、地域づくり（衣食住、3R、等）・社会実装（e-sports、プロジェクションマッピング、観光・見守りを支える技術、等）、等々、熱意のこもった作品や成果を、米沢の地で自由闊達に発表展示し、交流を通じて互いの興味を喚起し、ものづくり技術のさらなる向上と人的ネットワークの形成、新機軸の創造に資する事を目的としています。

【今後の展望】 今年度は3回目の開催となりますが、昨年度からは米沢ものづくり振興協議会との共催、米沢市には後援として参画して頂いています。このイベントをきっかけに、大学と地域をつなぐ取り組みとして展開していこうと考えています。

お問い合わせ

学術研究院

横山 道央（電子デバイス工学）

多田 十兵衛（計算機工学）

原田 知親（電子デバイス工学）

TEL：0238-26-3315 メール：makerfesta-yonezawa-users-group@yz.yamagata-u.ac.jp



めーかーず・フェスタ MAKERS FESTA

伝国の杜

9/12(金)-13(土)

入場料無料

10:00～16:00

2025



出展申込は
こちらです！

Yonezawa
Open
Factory

360°
と同時開催！

米沢のみらい。

主催：山形大学認定
ナセバース
研究グループ



共催：米沢ものづくり振興協議会
後援：米沢市、米沢工業会

令和7年（2025年）7月3日

エクステンションぷらす

観光地経営のための基礎的理論を学ぶ

～どこにでもあるものではないものを創り出す仕組みを知る～

【本件のポイント】

- エクステンションサービス推進本部（YEX）が企画する、リカレント講座「エクステンションぷらす」シリーズ。今回は、人文社会科学部の山田浩久教授に、観光地経営のための地域で勝ち抜く力と、その恩恵を地域に分配するためのスキルを身につけるための講座を開催していただきます。
- 観光地経営のため、観光関連事業者・自治体・住民の三者が一丸になり、観光商品のマーケティング、経営理論を学ぶために必要な「地域」の概念とは？
- 観光関連事業者の方のみならず、観光資源を利活用したいと思っている地域の方にもぜひ受講いただきたいと思います。

【概要】

観光地経営とは、当該観光地を差別化し、地域で勝ち抜き、地域内でその恩恵を分配することです。観光関連事業者はもちろん、自治体や住民も観光地経営人材ですから、地域で勝ち抜き、地域内でその恩恵を分配するためには、三者が一丸になる必要があります。そのため、通常、商品の売手と買手は1対1の関係ですが、観光商品においては、それが3対1の関係になります。本講義では、3対1の関係の下で、観光地の持続可能な成長を目指して観光商品売り抜く理論を学びます。マーケティングの理論も紹介しますが、観光商品のマーケティングには「地域」の概念が必要になることを理解することが本講義のメインテーマになります。講義は、『観光地経営人材育成ハンドブック・理論編』（海青社、2025年）の内容を要約し、説明・補足する形で進めます。



【開催方法】 オンデマンド型配信（Youtube限定配信） 全回、見逃し配信あり

【講師】 山田浩久教授（人文社会科学部） 専門：都市計画・都市地理学

【日時】 第1回 2025年9月3日（水）配信開始 「観光地経営の特異性」
第2回 2025年9月10日（水）配信開始 「持続可能な観光は地域の承認から」
第3回 2025年9月17日（水）配信開始 「地域資源の見方、見せ方、売り方」
第4回 2025年9月24日（水）配信開始 「プレイス・マーケティング」
第5回 2025年10月1日（水）配信開始 「観光DXに向けて」

*見逃し配信期間10月31日（金）まで、なんどでもご視聴いただけます。

【対象】 一般（高校生以上）

【受講料金】 10,000円（全5回分、教材つき）

*教材：山田浩久著『観光地経営人材育成ハンドブック 理論編』、海青社、2025年

【申し込み受付】 7/3（木）から受付開始 8/21（木）までに、
エクステンションサービス推進本部のHPよりお申し込みください。



お申し込みHP

配布先：学長定例記者会見参加報道機関



お問い合わせ

山形大学エクステンションサービス推進本部／（担当者名：石黒・丹野・鈴木）

TEL 023-628-4779 メール yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

エクステンションぷらす

「大学レベルの学問」を楽しく学び、社会で活躍するための知識や考え方を身につけることを目的とした
社会人向けのオリジナル講座「エクステンションぷらす」を開講します。

観光地経営のための基礎的理論を学ぶ どこにでもあるものではないものを創り出す仕組みを知る



観光地経営とは、当該観光地を差別化し、地域で勝ち抜き、地域内でその恩恵を分配することです。観光関連事業者はもちろん、自治体や住民も観光地経営人材ですから、地域で勝ち抜き、地域内でその恩恵を分配するためには、三者が一丸になる必要があります。そのため、通常、商品の売手と買手は対一の関係ですが、観光商品においては、それが三対一の関係になります。本講義では、三対一の関係の下で、観光地の持続可能な成長を目指して観光商品売り抜く理論を学びます。マーケティングの理論も紹介しますが、観光商品のマーケティングには「地域」の概念が必要になることを理解することが本講義のメインテーマになります。

講義は、『観光地経営人材育成ハンドブック・理論編』（海青社、2025年）の内容を要約し、説明・補足する形で進めます。

オンライン配信

※見逃し配信期間10月31日（金）まで

配信日

第1回：9月3日（水）配信開始
第2回：9月10日（水）配信開始
第3回：9月17日（水）配信開始
第4回：9月24日（水）配信開始
第5回：10月1日（水）配信開始

受講料

10,000円（全5回分、教材付）

講師

山田 浩久氏

（山形大学人文社会科学部 教授）

兵庫県生まれ。1994年東北大学大学院理学研究科博士課程後期修了、博士（理）。都市計画、都市地理学が専門。大学では、都市計画、地理学、地誌学、観光学等を担当。

観光地
経営人材育成
ハンドブック



山田浩久「観光地経営人材育成
ハンドブック 理論編」

各講座内容

第1回：観光地経営の特異性
第2回：持続可能な観光は地域の承認から
第3回：地域資源の見方、見せ方、売り方
第4回：プレイス・マーケティング
第5回：観光 DX に向けて

申込方法

上記のURLもしくは右記QRコードから、パソコンやスマートフォンで申込受付ページにアクセスをしてください。受講料の支払い方法や、受講方法などをご確認の後、専用フォームに必要事項をご記入の上、送信してください。

【申込締切】2025年8月21日（木）

【受付開始】2025年7月3日（木）～



お申し込みはこちら

受講の流れ

パソコン、スマートフォン等のタブレット機器でご視聴下さい。

- ①お申し込み後、配信日当日に視聴URLと資料をメールで送付します。
- ②配信日にご視聴下さい（Youtubeでの視聴）。
（見逃し配信期間を設けておりますので、それまで何回も視聴できます）
- ③講師の先生から、視聴後のレポートがありますので、メールで提出下さい（別途ご案内します）。

※期間内にレポートを提出いただいた場合は、修了証を発行します。

お問い合わせ

山形大学
エクステンションサービス
推進本部

TEL：023-628-4779

E-mail：yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

HP：https://yex.kj.yamagata-u.ac.jp

後援

公益社団法人 日本観光振興協会
山形大学人文社会科学部

令和7年(2025年)7月3日

山形大学

*詳細は別添の資料をご覧ください。

1. エクステンションぶらすアメリカで今、何が起こっているのか〜トランプ政権を理解するための3つの視座〜

今年1月、第二次トランプ政権が発足し、関税の引き上げやWHOおよびパリ協定からの脱退など、大きな政策転換が相次いでいます。アメリカの動きは世界情勢に大きな影響を与えますが、本講座では、アメリカの現在の動向を読み解くための背景を、基礎から解説します。また、こうした変化が今後の日本にもたらす影響についても考察する講座です。

2. 「やまだいキッズラボ! 2025 夏休み編」を開催します! 〜未就学児・小中学生向けのSTEAM教育イベント〜

山形大学地域共創STEAM教育推進センター（通称YU★STEAM）主催のイベント『やまだいキッズラボ! 2025 夏休み編』が、2025年7~8月に開催されます! 科学実験やロボットプログラミング、電気工作など、日常ではなかなかできない体験が盛りだくさん! 未就学児から中学生まで、よりたくさん子どもたちに体験してもらいたいと思い、全部で12種類のイベントをご用意しました。参加は無料で事前予約制です。申込みは公式HP (<https://yu-steam.amebaownd.com/>) をご覧ください。面白い企画をたくさん準備しておりますので、皆様奮ってご参加ください!

令和 7 年（2025 年）7 月 3 日

エクステンションぶらす

アメリカで今、何が起きているのか

～トランプ政権を理解するための3つの視座～

【本件のポイント】

- エクステンションサービス推進本部（YEX）が企画する、リカレント講座「エクステンションぶらす」シリーズ。
- 今回は、「アメリカで今、何が起きているのか」と題して、人文社会科学部の中村文子教授（専門：国際関係論）、溜川健一教授（専門：マクロ経済学）、伊藤豊教授（専門：文化交流史・比較文化）の3名の先生にそれぞれの視座からオンデマンド講座を開催いただきます。
- 第二次トランプ政権による、アメリカのみならず世界情勢への影響について、日本にもたらす影響についても考える講座です。

【概要】

今年1月、第二次トランプ政権が発足し、関税の引き上げやWHOおよびパリ協定からの脱退など、大きな政策転換が相次いでいます。アメリカの動きは世界情勢に大きな影響を与えつつありますが、本講座では、アメリカの現在の動向を読み解くための背景を、基礎から解説します。また、こうした変化が今後の日本にもたらす影響についても考察する講座です。

【開催方法】 オンデマンド型配信（Youtube限定配信） 全回、見逃し配信あり

【日時】

第1回 2025年10月8日（水）配信開始

中村文子教授「分断されたアメリカと国際社会—トランプ外交と今後の国際社会の課題—」

第2回 2025年10月15日（水）配信開始

溜川健一教授「経済学の視点から見たトランプ政権の経済政策」

第3回 2025年10月22日（水）配信開始

伊藤豊教授「移民、DEI、イクス／インクルージョン：「トランプのアメリカ」に見る民主主義と多様性の行方」

*見逃し配信期間12月24日（水）まで、何度でもご視聴いただけます。

【対象】 一般（高校生以上）

【受講料金】 5,000円（全3回分）

【申し込み受付】 7/3（木）から受付開始 9/30（火）までに、エクステンションサービス推進本部のHPよりお申し込みください。



お申し込みHP

エクステンションぷらす

「大学レベルの学問」を楽しく学び、社会で活躍するための知識や考え方を身につけることを目的とした
社会人向けのオリジナル講座「エクステンションぷらす」を開講します。

アメリカで今、何が起きているのか トランプ政権を理解するための3つの視座

今年1月、第二次トランプ政権が発足し、関税の引き上げやWHOおよびパリ協定からの脱退など、大きな政策転換が相次いでいます。アメリカの動きは世界情勢に大きな影響を与えています。本講座では、アメリカの現在の動向を読み解くための背景を、基礎から解説します。また、こうした変化が今後の日本にもたらす影響についても考察してみます。



講師紹介

第1回: 中村文子氏

(人文社会科学部 教授／専門: 国際関係論)

宮城県仙台市出身。高校時代を米国カリフォルニア州過ごし、人種差別をはじめとする差別や人権について興味をもつ。現在、国際関係論の中でもとくに人権規範普及について、人身売買を事例に研究している。

第2回: 溜川健一氏

(人文社会科学部 教授／専門: マクロ経済学)

茨城県出身。専門は、一国経済を分析対象とするマクロ経済学。こうした学問の観点からトランプ政権の経済政策はどう見えるでしょうか。私なりの考えをお伝えしたい。

第3回: 伊藤 豊氏

(人文社会科学部 教授／専門: 文化交流史・比較文化)

高知県出身。同志社大学卒業、同大学院修了後、米国ラトガース大学ニューブラウンズウィック校でPh.D. (アメリカ史)。2002年に山形大学着任、講師・准教授等を経て現職。

オンライン配信

※配信期間は12月24日(水)まで

配信日

第1回: 10月08日(水) 配信開始
第2回: 10月15日(水) 配信開始
第3回: 10月22日(水) 配信開始

受講料

5,000円 (全3回分、各100分)

各講座内容

第1回: 中村 文子氏
分断されたアメリカと国際社会
ー トランプ外交と今後の国際社会の課題ー

第2回: 溜川 健一氏
経済学の視点から見たトランプ政権の経済政策

第3回: 伊藤 豊氏
移民、DEI、イクス / インクルージョン:
「トランプのアメリカ」に見る民主主義と多様性の行方

申込方法

下記のURLもしくは右記QRコードから、パソコンやスマートフォンで申込受付ページにアクセスをしてください。受講料の支払い方法や、受講方法などをご確認の後、専用フォームに必要事項をご記入の上、送信してください。
【申込締切】2025年9月30日(火) 【受付開始】7月3日(木)～



受講の流れ

パソコン、スマートフォン等のタブレット機器でご視聴下さい。

- ①お申し込み後、配信日の前日まで、若しくは配信日当日に視聴URLと資料をメールで送付します。
- ②配信開始日よりご視聴いただけます(Youtubeにて)。
(配信期間中は何度でも繰り返しご覧いただけます)
- ③講師より、視聴後にご提出いただくレポート課題があります。メールにて提出下さい。(別途ご案内いたします)。
※期間内にレポートを提出いただいた場合は、修了証を発行します。

お問い合わせ

山形大学
エクステンションサービス
推進本部

TEL: 023-628-4779

E-mail: yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

HP: <https://yex.kj.yamagata-u.ac.jp>

後援

山形大学人文社会科学部

令和7年（2025年）7月3日

「やまだいキッズラボ！2025 夏休み編」を開催します！

～未就学児・小中学生向けのSTEAM教育イベント～

【本件のポイント】

- 2025年7～8月の夏休み期間に、未就学児・小学生・中学生を対象とした『やまだいキッズラボ！2025 夏休み編』を開催します。
- 科学実験やロボットプログラミング、電気工作など、日常ではなかなかできない体験が盛りだくさん！12種類（年中・年長さん向け4種類、小学1～3年生向け4種類、小学4～6年生・中学生向け4種類）のイベントを企画しています。
- 参加は無料で公式HPからの事前予約制です。申し込みは公式HP (<https://yu-steam.amebaownd.com/>) をご覧ください！



【概要】

山形大学地域共創 STEAM 教育推進センター（通称 YU★STEAM）主催のイベント『やまだいキッズラボ！2025 夏休み編』が、2025 年 7～8 月に開催されます！科学実験やロボットプログラミング、電気工作など、日常ではなかなかできない体験が盛りだくさん！未就学児から中学生まで、よりたくさんのお子たちに体験してもらいたいと思い、全部で 12 種類のイベントをご用意しました。参加は無料で事前予約制です。申込みは公式 HP (<https://yu-steam.amebaownd.com/>) をご覧ください。面白い企画をたくさん準備しておりますので、皆様奮ってご参加ください！

【イベント詳細】

- ① 日程：2025年7月30日（水）～8月23日（土）の12日間
- ② 対象：年中・年長さん、小学1～3年生、小学4～6年生・中学生
- ③ 定員：各回12または20名（応募者多数の場合は抽選）
- ④ 場所：山形大学小白川キャンパス
- ⑤ 講師：安達 茜（YU★STEAM）
- ⑥ 料金：無料
- ⑦ 申込方法：公式HP (<https://yu-steam.amebaownd.com/>) の申込フォームより
- ⑧ 実施内容：年中・年長さん向け…虫や花の観察や色の変化実験、チリモン探しや磁石のブロック遊びなど
小学1～3年生向け…チリモン探しやプログラミング、電気回路のゲームや紙作り体験など
小学4～6年生・中学生向け…チリモン探しやロボットカー、電流回路やキーホルダーの作成など
実施内容等の詳細は公式 HP もしくは配布のチラシをご覧ください。



協賛：日新製薬株式会社、アイジー工業株式会社

※用語解説

1. スチーム（STEAM）：Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Art（芸術）、Mathematics（数学）の頭文字を取った教育概念。STEAM 分野を統合的に学び、実社会での問題発見・課題解決に活かしていくための分野横断的な教育です。



お問い合わせ：山形大学地域共創 STEAM 教育推進センター
TEL：023-628-4506（SCITA センター内）
メール yu-steam@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

2025 夏休み編



やまだ11 キッズラボ！

年中・年長さん

第1弾！

8月2日



うみにすむ「しんしゅ」
の「チリモン」を
はっけんしよう！

第2弾！

8月8日



じしゃくのブロックで
おうちやどうぶつを
つくってみよう！

第3弾！

8月21日



けんびきょうで
むしやはなを
かんさつしてみよう！

第4弾！

8月23日



いろがかある かみ で
カラフルなおはなを
つくってみよう！

日時：2025年8月2日(土)、8月8日(金)

8月21日(木)、8月23日(土)

全日程 9:30～10:30

対象：年中さん・年長さん（保護者参加必須）

定員：各回12名（応募者多数の場合は抽選）

場所：山形大学小白川キャンパス

講師：安達茜（YU★STEAM）

料金：無料

受付期間：7月1日12:00～7月16日12:00

- ・参加の可否は7月18日までにメールでお送りします
- ・メールが届かない場合は電話にてお問い合わせください

参加無料

公式キャラクター
虹のワック

申込はこちら！

主催：山形大学地域共創STEAM教育推進センター（YU★STEAM）

協賛：日新製薬株式会社、アイジー工業株式会社

お問い合わせ：TEL: 023-628-4506（平日9時～17時）

mail: yu-steam@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



小学1~3年生



やまだい キッズラボ!

2025 夏休み編

参加無料

第1弾!

7月30日



海にすむ「しんしゅ」
の「チリモン」を
はっけんせよ…!

第2弾!

8月6日



プログラミングで
車を走らせて
おかいものしよう!

第3弾!

8月7日



でんきの道を作って
先にライトを
光らせたらかち!

第4弾!

8月20日



オリジナルはがきと
ふしぎなスタンプを
手作りしてみよう!

日時: 2025年7月30日(水)、8月6日(水)、8月7日(木)、8月20日(水)

午前の部…10:00~11:30 午後の部…13:30~15:00

- ・午前と午後は同じ内容です
- ・午前・午後の両方に応募された場合はどちらかのご案内です

対象: 小学1~3年生 (保護者参加必須)

定員: 各回12名 (応募者多数の場合は抽選)

場所: 山形大学小白川キャンパス

講師: 安達茜 (YU★STEAM)

料金: 無料

受付期間: 7月1日12:00~7月16日12:00

- ・参加の可否は7月18日までにメールでお送りします
- ・メールが届かない場合は電話にてお問い合わせください

公式キャラクター
虹のワック



申込はこちら!



主催: 山形大学地域共創STEAM教育推進センター (YU★STEAM)

協賛: 日新製薬株式会社、アイジー工業株式会社

お問い合わせ: TEL: 023-628-4506 (平日9時~17時)

mail: yu-steam@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



夏だー！ 楽しもう！

小学4~6年生・中学生

やまだい キッズラボ！

2025 夏休み編

第1弾！ 新種のチリモンを探せ！

第2弾！ ロボットカー作り！

第3弾！ 電流回路で作品作り！

第4弾！ レジンキーホルダー作り！

**参加無料！
詳細は裏面へ！**

主催：山形大学地域共創STEAM教育推進センター（YU★STEAM）

協賛：日新製薬株式会社、アイジー工業株式会社

TEL: 023-628-4506（平日9時～17時） mail: yu-steam@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

発見するのは誰だ…?!
新種のチリモンを探せ！

日時：2025年7月31日（木）
午前の部 9:30~12:00
午後の部 13:30~16:00
（午前・午後は同じ内容）
定員：20名（保護者観覧可能）



プログラミングで動かそう！
ロボットカー作り！

日時：2025年8月18日（月）
午前の部 9:00~12:00
午後の部 13:00~16:00
（午前・午後は同じ内容）
定員：12名（保護者観覧可能）



電流の道を切り開け！
電流回路で作品作り！

日時：2025年8月19日（火）
午前の部 9:30~12:00
午後の部 13:30~16:00
（午前・午後は同じ内容）
定員：12名（保護者観覧可能）



暗闇で光る?!
レジンキーホルダー作り！

日時：2025年8月22日（金）
午前の部 9:30~12:00
午後の部 13:30~16:00
（午前・午後は同じ内容）
定員：20名（保護者観覧可能）



対象：小学4~6年生・中学生
場所：山形大学小白川キャンパス
講師：安達茜（YU★STEAM）
料金：無料
受付期間：7月1日12:00~7月16日12:00
ご参加にあたって

- ・参加の可否は7月18日までにメールでお送りします
- ・メールが届かない場合は電話にてお問い合わせください
- ・午前・午後の両方に応募された場合はどちらかのご案内です

公式キャラクター
虹のワック



＼申込はこちら／

